

茨城工業高等専門学校 校歌

作詞:土岐 善麿 作曲:松本 民之助 編曲:後藤 明



一、風清く松林 こもるみどりよ
阿武隈はるかに 雲晴れたり
知りゆくよるこび 日に日に新たに
ひとしく励み ともに競えば
道あり 正しく 街につづきて
希望の世界は さらにひろし

二、いみじくも ととのえる 物のいのちよ
自然のちからを 手にとるとき
かがやくひかりは 見る見る満ちつつ
流るるおとも つねにあかるし
芝生の 若芽に 梅もおれり
友情進取の 意気にこそぞれ

茨城高専 この明朗と
この健全を 誇るべし

創立60周年記念事業

時期	事業名
R5.2	令和4年度企業研究会
R5.9	高専制度創設60周年記念事業植樹式
R5.9	茨城高専アソビサイエンス(～R7.3までに5回開催)
R5.11	令和5年度就職講演会・企業研究会
R6.3	創立60周年記念事業募金開始
R6.7	ひたちなか市誕生30周年・本校創立60周年記念連携事業TECH-MECHひたちなか始動
R6.9	TECH-MECHひたちなか ROCKオブジェ プロジェクションマッピング
R6.10	ネーミングライツ事業 開始
R6.11	校歌音源作成
R6.11	令和6年度就職講演会・企業研究会
R6.11	創立60周年記念誌刊行
R6.12	茨城工業高等専門学校連携企業会 発足
R6.12	創立60周年記念オリジナルボトル作成・ウォーターサーバー設置
R6.12	創立60周年記念式典・芸術鑑賞会
R6.12	TECH-MECHひたちなか クリスマス プロジェクションマッピング
R7.3	KOSEN Global Camp 2024



茨城工業高等専門学校 創立60周年記念

記念式典 芸術鑑賞会

- 一. 開 式 の 辞
- 一. 校 長 式 辞
- 一. 来 賓 紹 介
- 一. 来 賓 祝 辞
- 衆 議 院 議 員 梶 山 弘 志 様
- ひ ち ち な か 市 長 大 谷 明 様
- 茨 城 工 業 高 等 専 門 学 校
連 携 企 業 会 会 長 五 十 嵐 則 夫 様
- 一. 理 事 長 謝 辞
- 一. 閉 式 の 辞

令和6年12月12日(木)

ひたちなか市文化会館

創立60周年記念式典 校長メッセージ

本日ここに、茨城工業高等専門学校創立60周年の式典を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

ご多用の折、ご列席いただきました多くのご来賓の皆様をはじめ、ご来場の皆様全員に厚く御礼申し上げます。



校長 鈴木 秋弘

茨城工業高等専門学校は1964年(昭和39年)創立、当初は機械工学科(入学定員80名)、電気工学科(40名)の2学科体制からスタートしました。その後、2017年(平成29年)国際創造工学科1学科4系に改組され、現在に至っています。

本校では「自律と創造」を教育理念に掲げ、科学技術の進歩がもたらす新たな課題に取り組むと共に、社会が抱える課題にも取り組み、解決策を生み出すことが出来る創造性溢れるエンジニアの育成に努めています。

さて、【高専用語】、ご存じでしょうか？

- 1.人財:(社会の財産としての意味で、財の字は、財産の財)社会の財産・宝を育てること
- 2.学生ファースト・コンピテンシー教育:時代の変化を先取りした学習環境の改革を行い、「成功は失敗の元」と心得て、これまでの成功に慢心することなく、コンテストなどを通して、チャレンジ精神を育むこと
- 3.真のGlobal:歴史・文化・相手の気持ち(心)を理解すること
- 4.共学・共育そして共成:学校、家庭、地域の協働によるシナジー効果を活かした教育を展開すること
- 5.Social Doctor:社会のお医者さん(Social Doctor: Doctor for the Society)であり、谷口理事長の強いリーダーシップの下、Innovator, Creatorである人財を育成すること
- 6.KOSENスピリッツ:失敗を恐れず、チャレンジする精神のこと

近年では専攻科生に課題解決型インターンシップとして「MIPPE(Mutually Inductive Problem-solving Practical Education)」プログラム、本科生向けに「MIPPEプラス」プログラムを通じて地域企業との繋がりを深めています。加えて、キャリア支援の充実を図り、進路におけるミスマッチを防ぐ取組として、「企業研究会」を開催しています。これは全国大手企業や地元企業により、会社側の事業説明、学生との交流を通して、相互理解を深める取組です。学生には自分の進路を自ら選択できる、“ピボットキャリア”の軸足とその未来を自ら切り拓く力を付けて欲しいと願っています。

そして、ひたちなか市唯一の高等教育機関として、さらに高度な変化を伴う社会的要請に応えるため、地域産業界、地方公共団体等との連携を強化し、研究・技術開発、技術交流等を活性化して地域、日本、さらには世界に貢献したいと考えておりますので、今後ともご指導、ご支援のほどお願い申し上げます。

茨城高専Family(学生、保護者、教職員)へ

茨城高専は、学生ファースト、地域密着・共学・共育・共成の姿勢で、“挑戦を恐れない”-“失敗OK”-“どんなChallenge”最後は“よっしゃ!”を合言葉に、年祝い(還暦60歳、古希70歳、喜寿77歳、傘寿80歳、米寿88歳、卒寿90歳、白寿99歳、百寿100歳)を時代と共に重ね、より地域に密着した学校へと成長します!

桂宮治 の 落語 ライブ!

出演 桂宮治 鏡味仙志郎 雷門音助



【落語家】桂宮治 かつらみやじ

平成20年 2月 桂伸治門下として二月下席より浅草演芸ホール楽屋入り
 平成20年 3月 浅草演芸ホールにて初高座「子ほめ」
 平成24年 3月 下席より二ツ目昇進
 令和 3年 2月 五人抜きで真打昇進

次世代を担う落語の一人として期待が高い落語家です。落語家や講師によるユニット「成金」の中心メンバーであった。波瀾の声量とわかりやすい落語と少しの毒気。立て板に水のごとく頭の回転の良さが光り、次々連想がつながる。学校会場でいつの間にか生徒の皆様も宮治ワールドに引き込まれます。



かがみせんしろう

【太神楽曲芸師】鏡味仙志郎

平成 5年 父である鏡味仙三郎に入門
 平成15年 フジテレビ火曜時代劇『夜桜お染』出演
 平成16年 国際交流基金シリア・オマーン公演
 平成18年 「仙志郎」と改名



かみなりもんおとすけ

【落語家】雷門音助

平成20年 龍谷大学経営学部卒業
 平成23年 九代目雷門助六に入門
 平成24年 楽屋入り 前座となる
 平成28年 二ツ目昇進

番組表

1 解説・体験教室

桂宮治

2 落語

雷門音助

3 太神楽曲芸

鏡味仙志郎

4 落語

桂宮治

見どころ

扇子や手拭いなどの道具の使い方、仕草の説明、落語の楽しみ方をお話します。体験教室では生徒さんが高座の上で仕草や小唄を体験できます。

解説の内容を汲みながら雷門音助が初心者でも楽しめる落語を披露します。

落語以外の芸として、目で見て楽しむ色物が落語の間に入ります。江戸太神楽のお家元鏡味仙志郎が美しい所作で伝統的な曲芸をお見せします。

今の落語の新しい時代を担う才気溢れる落語家がびっくりするほど人気沸騰の桂宮治は全国どの学校でも生徒に大ウケです。